

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画課
(〒949-75 ☎025889(代)3111)

TNN川口中継局開局記念番組

レッツ・ラブかわぐち放映

日時 9月5日(日)
午前八時三十分～午前九時

放送局名 テレビ新潟(TNN)
UHF42チャンネル

「水と緑のふるさと川口町」を紹介し、わが町を、目で、耳で、再認識してください。

書道同好会 会員募集

書の愛好者六人により書の研究技術の向上を図る目的で八月一日川口町書道同好会が発足いたしました。ついでに会員を募集しておりますので川口四・星野五作さんまでご連絡下さい。電話2065

毎月第2・第4水曜日(午後7時30分～福祉センター小会議室)が定例日です。

ご協力ください 就業構造基本調査

十月一日を中心として、全国で就業構造基本調査が行われます。この調査は全戸を調べるのでな

たばこは町内で買ひませう

昭和57年度高校 開放講座

主 催 新潟県教育庁社会教育課

講座の名称 「市民教養講座」

対 象 一般成人

募集人員 約四〇名(先着順)

受 講 料 無料

期 日 昭和57年9月10日(金) 昭和58年3月11日(金) 午後7時より

敬老会

日時 9月15日 午前11時

場 所 町総合福祉センター

演 芸 町文化芸能協会

※米寿及び金婚が当事者に褒章を予定。

その他 受講のさい、筆記用具等持参のこと。

申し込み 9月8日(水)までに往復はがきに住所・氏名・年齢・性別・職業・連絡先電話番号を記入し、〒947 小千谷市城内3丁目3番11号 新潟県立小千谷西高等学校(☎214335)へ申し込むこと。

学習内容 小千谷市市民会館

1. 9月10日(講義) 担当者 石黒貞夫
。現代の若者像
(1)家庭における親と子の生き方
(2)若者の考え
(3)これからの若者に何を期待したらよいか

2. 9月17日(講義二・五時間) 担当者 滝沢直行
。ソクラテスと現代

申し込み 9月8日(水)までに往復はがきに住所・氏名・年齢・性別・職業・連絡先電話番号を記入し、〒947 小千谷市城内3丁目3番11号 新潟県立小千谷西高等学校(☎214335)へ申し込むこと。

こんなとき、行政書士に相談を!!

新潟県行政書士会

ご存知ですか

行政書士は次のような業務を取り扱っています。

- ・官公署に提出する書類の作成
- ・権利義務、事実証明に関する書類の作成
- ・実地調査に基づく図面類の作成
- ・提出手続の代行および相談

- ①農地に関する事
- ②土地利用に関する事
- ③営業の許可に関する事
- ④建設業者に関する事
- ⑤自動車に関する事
- ⑥交通事故に関する事
- ⑦公害防止に関する事
- ⑧権利義務に関する事
- ⑨事実証明に関する事

人口	6,683人
男	3,268人
女	3,415人
世帯数	1,523戸

昭和57年8月24日現在



盆おどり (西川口地区)

おもな内容

町民体育祭.....	2~3	「がん」死因のトップに.....	9
「老」さけて通れない道.....	4~6	年金だより、地区館だより.....	10
運動公園「子ども遊園地」誕生.....	7	スポーツコーナー.....	11
旅の思い出とあき缶は持ち帰り.....	8	お知らせコーナー.....	12~14

町民体育祭

町民体育祭最終得点表						
田舎山	西川口	泉	和歌山	木沢	中山	東部
46	52	30	30	30	39	53

▲ 体育祭最終得点表



▲ 外野席でも応援



▲ 応援団にも熱が入る



▲ まだまだ若いもんには…健脚リレー



▲ 優勝をかけた地区館対抗リレー



▲ アベック二人三脚リレー



▲ なぜか？ピントがあわないアベックなわとびリレー



▲ 体カテストレース



▲ 紅白玉入れ



▲ 百足競争リレー



▲ アクシデントがあり出張応援



▲ 綱引き



▲ タルころがし

町民体育祭

猛暑の中、大活躍

8月29日 運動公園にて



▶ 七地区館堂々入場

去る八月二十九日(日)、台風十三号の影響を受け、厳しい残暑の中運動公園において、第二十四回町民体育祭が盛大に行われ、優勝杯は西川口地区との一点差という接戦で東部地区館が手にしました。千人を超える参加者が一同に会し、川口中ブラスバンドの演奏の入場行進曲で各地区選手団が入場、午前九時十分開会式が始まりました。

町長は、「町民皆スポーツの輪を広げ、スポーツを通じ、"レッツ川口かわぐち"さあ川口を愛そう運動を強力に進めたい。」とあいさつ。

川口小学校鼓笛隊が開会式に花



▲ 選手宣誓



▲ 開会式に花をそえる



を添え、田舎山地区館の森山正夫さん(田中)の選手宣誓により、競技が開始。

体育祭テーマにふさわしい、ふれあいを主体とした種目が続き、笑いとお歓声が交錯した楽しいひとときが過ぎました。

午後、最後の種目「地区館対抗レース」まで、全く優勝のゆくえはわからず、最高の盛り上がり。最後に、アクシデントがありましたが、各地区館の力が接近し、三地区館が同点という、めずらしい結果で幕を閉じました。



▲ 幼児レース



▲ 水くみりレー



▲ スポーツグループ対抗リレー



▲ ボートレース



▲ ジャンケンリレー



▲ 馬とびレース

“老” さけて

私の身近にいる老人といえば、私の母（七十三歳）です。わが家には四歳と三歳の、とても手のかかる幼児が二人いますが、私達夫婦はこの二人を七十三歳の母にあずけて動機に出ています。生活のために仕方なくしていることなのですが、老人を特別なものと見ないで家庭の中の一つの大きな役割をうけもってもらっているという点では、よい面もあると思います。



川口 5
服部文枝

30歳代

いつまでも働くチャンスを...

母に子どもをあずける立場として、私はいくつか決めていることがあります。子どもを一日見ているのが老人のだから、意見が対立した時は老人の意見を尊重する。それには少しくらい、老人に育てられているための欠点（厚着をするとか、甘えるなど）が出て、長い目でみて放っておく。

逆に老人に育てられているための長所をみつけて伸ばすようにしたい。

おばあちゃんを愛する気持ちが自然に身につくように、私達夫婦もふだんから老人に対することば使いや思いやりに気をつける。

わが家の子どもたちは、祖母の影響で、お経や御詠歌をおもしろがります。祖母が趣味の御詠歌を習うためにお寺へ行く仕度をしていると「ハンニャンシギョー（般若心経）に行くの？」と言ったり、また、仏壇に供えた食物を「ノンノさん、ちょうだい」と言ったり下げるなど、祖母からもらった習慣や長所がかなりあります。

こうした日常を通して、私が老

通れない道

9月15日は敬老の日、家庭で話し合いを!!

厚生省が七月十七日、発表した日本人の平均寿命は、男子で七十三・七九歳（世界第一位）、女子で七十九・一三歳（世界第二位）と八十歳の大会に迫っています。

北欧諸国の長寿国をしのいで、日本は世界一の長寿王国となりました。しかし逆に、六十五歳以上の高齢人口の割合は、世界に類を見ない程急速に増加しており、このままいくと、昭和七十五年には七人に一人は老人になってしまうだろうとされています。

ことしも敬老の日を迎えます。人生五十年と言ったのは、昔のことです。人生の五分の一をも占める長い老の期間を充実したものとするために、老に目をむけることなく自分自身の問題として考えてみたいものです。今回は、二十代、三十代、四十代の中から、三名の方を選んで老について寄稿いただきました。

あなたの老後はどうなるでしょうか？

20歳代

“老” 考え始めねば.....



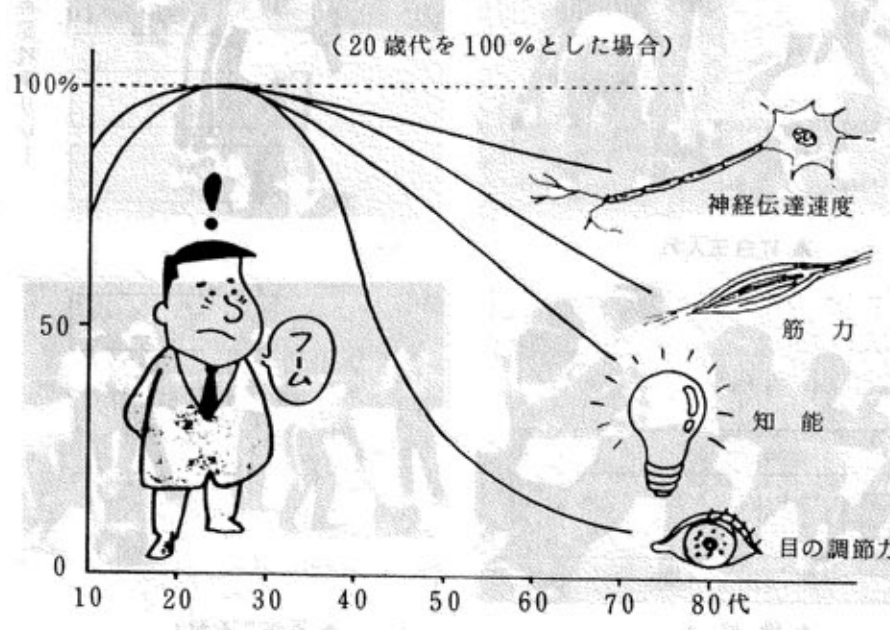
和南津
覚張尚美

“長寿世界一、日本”の見出しがなげなく開いた新聞の一面にでていました。あゝ、ついに世界一かという感慨と、何んと世界一になってしまったのかという何んとなく、さみしく、長寿国が老人国と言われていくようで、暗い感じになりました。現在二十代の人が諸々の年金等を受け取る年齢に至った時に、はたして国に支給能力（裏を返せば国民に負担能力）がある

のでしょうか。現在でさえ国民の年金負担は、かなり重くなってきています。逆三角形（▼）の人口形態であるわが国がこの先、激増する老人人口をささえていく為には、福祉の面でも多くの問題を、抱えています。その中の一つ、医療費の現在は、七十歳から無料ですが、この状態を今後、継続する事ははたしてできるのでしょうか。数十年前後に、老人労働力が社会にとって、今以上に必要労働力となる時がくるように思えます。その時、福祉面でも何かしらフォローしていかないと、労働も維持できないのではないのでしょうか。しかし将

加齢に伴う諸機能の変化

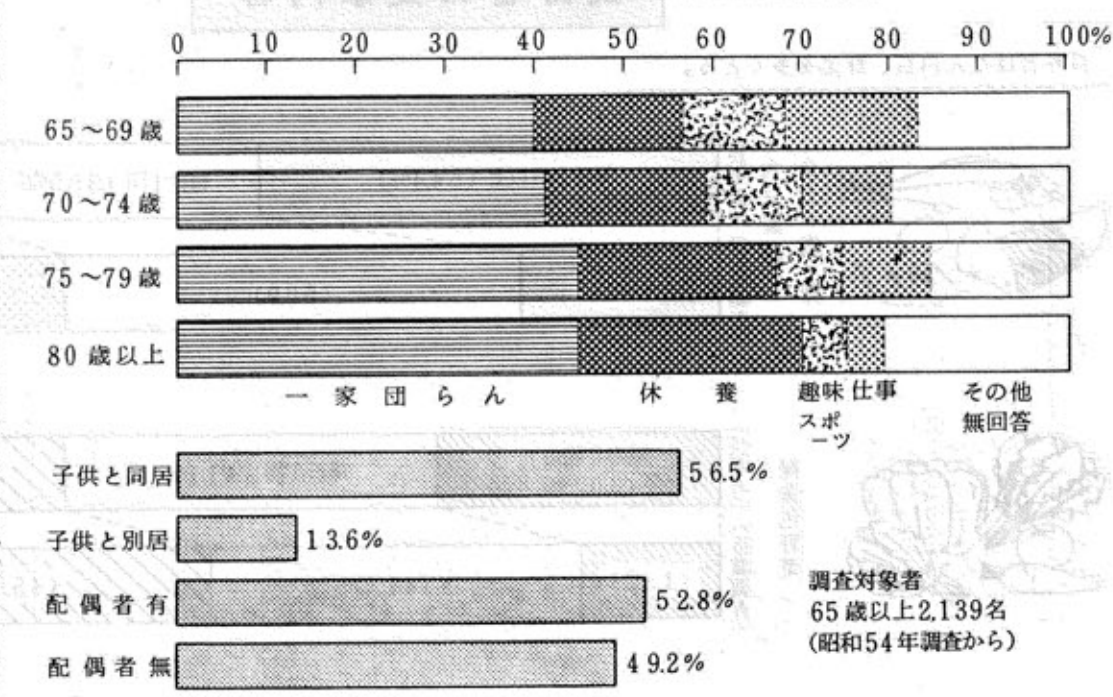
(20歳代を100%とした場合)



来の心配な面ばかりを推し量っていても、しかたがありません。最近、ゆとりの生活という言葉をよく耳にするようになりました。日本が戦後、目まぐるしく発展してきた、この辺で少し、生活の豊かさという面に、目を向ける事ができるようになってきたという事は、この先、楽観はできないでしょうが、決して悲観する必要もないと思います。

この原稿の依頼を受けて、考えていくうちに、十代の人達から、「オジン」「オバン」と呼ばれている私達が、本当にそう呼ばれるまで、数十年あります。（本人はそう思っていますが...）その間に世の中が、どのように変化していくのか、予測も立ちませんが、必ずおとずれる、老いる時の事を少しづつ、考え始めなければならぬのでは、と思えてきました。

“どんな時が楽しいですか？”



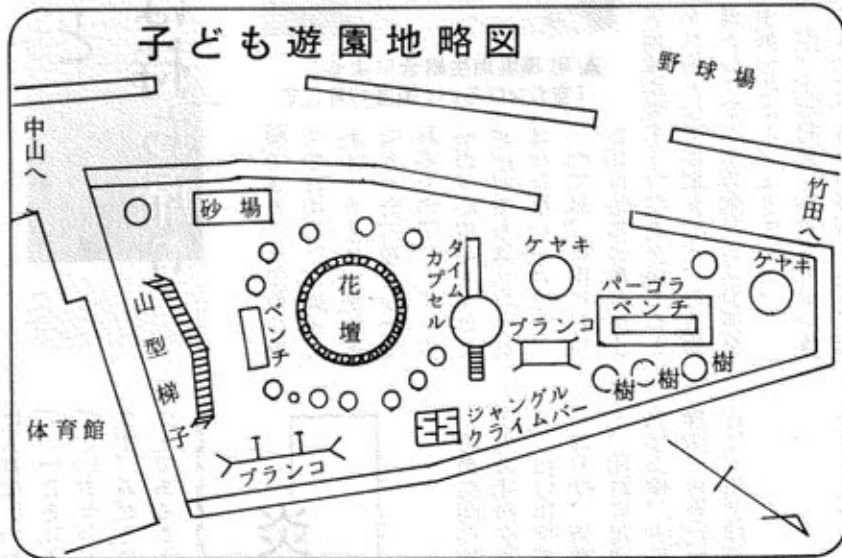
人について考えることは、老人をすでに役目の終わった人たち、と見ないで、できることを家庭や社会の中で役立ててもらおう。若い者の手でそういうチャンスを作ってもらえたら、そんなふうに扱ってもらえたらと思います。

運動公園

“子ども遊園地”

誕生

もじもじな声の歓声が……



このほど、運動公園専用野球場脇に「子ども遊園地」が誕生し、子ども達から喜ばれています。これまで子ども達の遊び場（ミニ遊園地）は各地区に設置されてきていますが、運動公園にはなく、パパやママに付き添われてきた児童は遊び場がなく、手持ちぶさたでした。これからは、親は野球、バレー、

テニス、子ども達は遊園地で、思いきり遊べます。

この施設の敷地面積は七百平方メートル。①タイムカプセルの山型はしご②ジャングルクライパー④ブランコ等子ども達の大好きなものばかり集めています。歩くときは速く感じますが、これからは、小さなお子さん方の「子守りの場所ともなりそうです。

ナイター照明 一段と明るさを増す

運動公園専用野球場・テニスコート

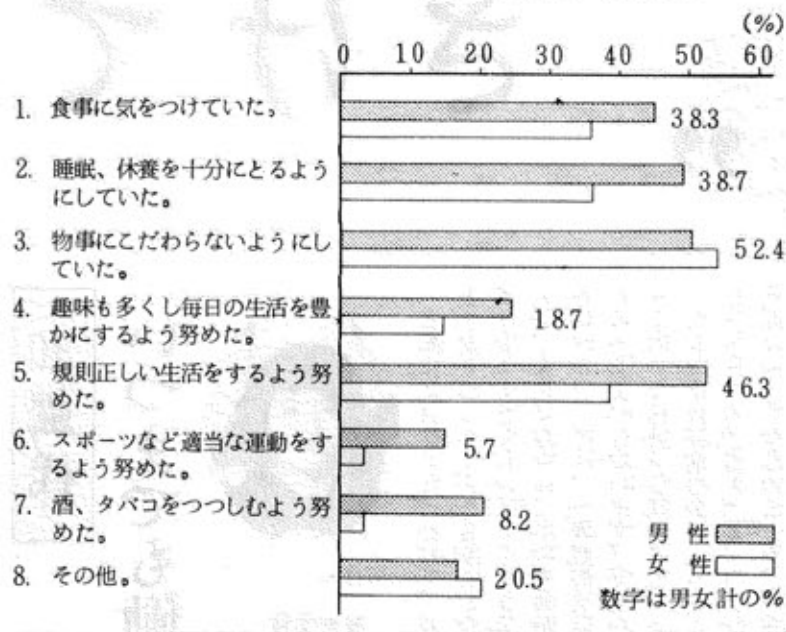
このほどナイター照明工事が施工され、専用野球場、テニスコートが一段と明るくなりました。運動公園がオープンして二年目。野球場とテニスコートの照明が暗いという声がありました。町長はこの声を一

早く察知し、苦しい財政の中で、施工にふみきったものです。野球場を見ると、内野で二百ルクス、外野は百ルクス、テニスコートは約一・五倍。練習用の明るさが試合用の明るさになったものです。テニスコートについては、前回は二面利用のものが、五面全部利用出来るようになりました。この施設を有効利用し、小中学生はもちろんの事、大人の活躍に大きな期待が寄せられています。



▲タイムカプセル (カタログより)

長寿者が中年以降の生活の中で心掛けていたもの



田山 水落 深

老い先きの事など考える事もないのだが、私が高齢者の仲間入りをする予定の二十年後の社会は老

“老”先きは遠く……

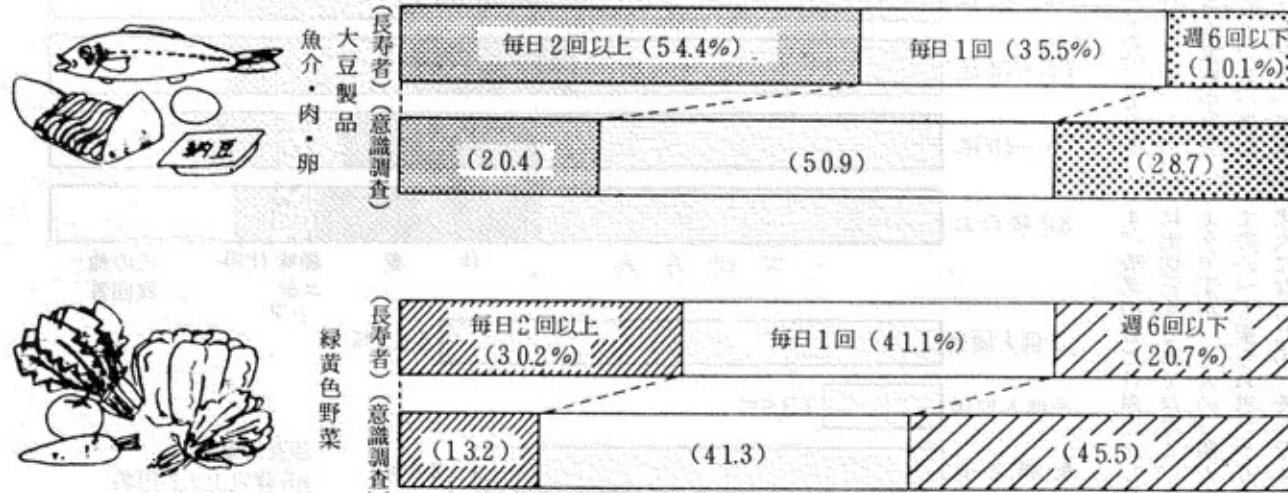
40歳代

そろそろ体のあちこちに欠陥箇所が増え始めて来たというのになんと三十年も持つかと不安にもなる。しかし少し位の体の欠陥位では引退はさせられないのである。日本の医療技術は高度に日進月歩発達し続けているのだから、かなりの欠陥は補修に補修を重ねて持たせてくれそうである。今の状態では、神様、仏様、お医者様と祈らずには居られない。では何歳になったら、「御老体」と崇め奉られる様になるのだろうか。八十、九十になって身も心もボロボロになってから、御苦労様でした余生を充分楽しんで下さいでは哀れである。人間社会もいよいよ動物社会に近づいて来ているのだろうか。自分の子供の被扶養者となって老後を安穩などと云う時代は過ぎつつあるのかも知れない。それでは働き続けながら楽しむしかない。日本の社会もこれから勤労老人の体力向上と余暇施設の設置に力を入れていただきたい。

我々中年も今から四十、五十才は鼻たれ小僧と空元気を出しながら、これからの人生に向かって歩み続けよう。

長寿者の食事内容

長寿者はたん白質、野菜を多くとる。



旅の思い出と 空カンは持ち帰り



▲町環境衛生組合による「空カンひろい」国道17号にて
険であり、その他の場所では美しい環境をこわすとともに不衛生となり社会問題となつておるもので、わずか6%の不心得の人々のために対策を講じなければならぬわけですが、県では、県内における空き缶等の散乱防止と地域環境美化の促進を図ることを目的として要綱を制定、行政指導として空き缶等散乱防止対策を実施することになりました。

環境衛生週間 9/21~27日

最近道路、河川、海岸その他行楽地などに空き缶等が散乱し社会問題となつていす。京都市では、条例を制定し空き缶散乱対策を実施しており、関東の都県では、デポジット(上乗せ金)方式が検討されております。空き缶は九四%が市町村、ボランティアなど何らかの方法で回収され、散乱しているのは六%相当と云われております。道路上に捨てられた空き缶等は交通上危

険であり、その他の場所では美しい環境をこわすとともに不衛生となり社会問題となつておるもので、わずか6%の不心得の人々のために対策を講じなければならぬわけですが、県では、県内における空き缶等の散乱防止と地域環境美化の促進を図ることを目的として要綱を制定、行政指導として空き缶等散乱防止対策を実施することになりました。県、市町村、旅行者等が一体となつて、各々が責任をもち、協力し合い、県民総ぐるみの空き缶等散乱防止の運動を展開しようというものです。当町における空き缶等の散乱状況は国道十七号線が一番多く、その他県道、町道、河川、神社の境内、空き地等であります。国道では、建設省が回収しております。町環境衛生組合でも拾っておりますが、集めた後すぐ投げ捨てられている現状です。空き缶問題は、その原因が飲み終わった後の空き缶を「所定のかご

に入れなかったり」、「持ち帰らない」ことにあり、心ないポイ捨てというモラルの欠如で起きています。みだりに捨てるのが悪いことであることを皆さんで知らせ

炎天下の中、真剣な顔々……

町消防団総合演習を実施

町消防団の総合演習が、二百七十人の団員を集めて、八月二十二日、川口中学校で行われました。演習は、青柳町長を点検者として、団員の規律訓練や消防機械器具の点検、火災を想定したポンプ操法、魚野川河畔での放水演習などで、消防団員は一朝有事のとき



のために真剣に取り組んでいました。演習後には、今年退団した堀沢保孫英前分団長に感謝状と記念品が贈られ、日本消防協会その他の機関から精勤賞などが、それぞれの団員に伝達されました。また、建物無火災千日以上を達成した第二分団(津山地区)と第六分団(木沢、峠地区)の二分団に、町長から表彰状及び団員には、功績賞を贈りその功績を称えました。今回の演習には、小千谷地域消防署のレインジャー隊が特別参加。ロープを使って中学校屋上からの救助救

達成した第二分団(津山地区)と第六分団(木沢、峠地区)の二分団に、町長から表彰状及び団員には、功績賞を贈りその功績を称えました。今回の演習には、小千谷地域消防署のレインジャー隊が特別参加。ロープを使って中学校屋上からの救助救



出訓練を披露し、関係者の注目を集めました。

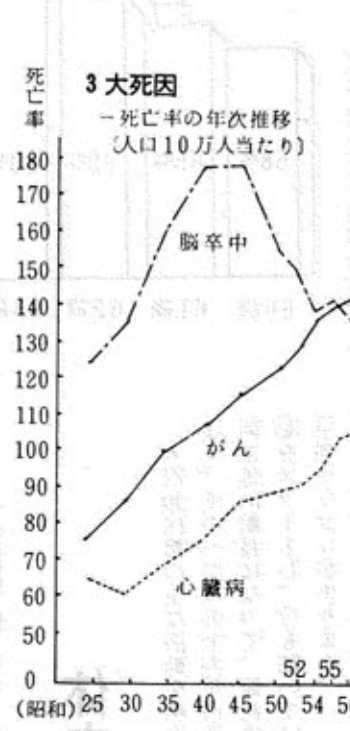
消防演習に サイレン警鐘
日時 昭和57年9月5日(日) 午前7時
演習招集信号によるサイ レン及び打鐘
区域 小千谷市全域

がん征圧月間

がんが脳卒中を抜いて一位に：昭和五十六年にがんで亡くなった人は約十六万六千人で、脳卒中による死者を約九千人も上回り、初めて死因順位のトップになりました。(厚生省・昭和56年「人口動態の概況」)。
また、全死者数に占める「がんによる死者」の割合は二三・一

早期発見・早期治療が 最も有力

将来は肺がん、乳がんが増える



がんは、中年期、特に四十歳以上によく発生しています。

による死亡率は減少しており、十数年後には現在の半分ぐらいになるだろうと推計されています。

胃がん 日本人に最も多いがん
日本人のがんの特徴は、胃がんが圧倒的に多いこと。昭和五十六年のがん全体に占める胃がんの割合は男三二・〇%、女は二七・六%で、断然トップとなっています。しかし、食生活の変化や検診による早期発見が可能になり、胃がん

肺がん 喫煙量を少なくする
一万、これから増えると思われるのは肺がん、特に男の場合、昭和六十八年ごろには胃がんを抜いて死因の第一位になるだろうと考えられています。がんはいくつもの因子が重なり

あつて起こると考えられています。が、それらはまだ十分に解明されていません。しかし、肺がんについていえば、喫煙量が多いほど、また喫煙開始年齢が若いほど発生の危険性は増大すると言われています。

る時期を早期といひ、この時期に発見し治療すれば一〇〇%治ります。30~40歳ごろから子宮がんにかかる率が高くなりますので、進んで集団検診を受けましょう。

子宮がん 女性では胃がんに次ぐ
女性の場合、胃がんは次に多いのが子宮がんです。子宮は胎児の宿る体部と、腔に近い頸部から成っていますが、日本では頸部が圧倒的に多く、それだけに発見も容易です。頸部がんが上皮内にとどまってい

乳がん 自己検診で早期発見を
女性特有のがんで、以前は、日本人には少ないと言われていたが、ここところ徐々に増え、おり、将来も増加する傾向にあるとみられています。乳がんのできやすい箇所は、乳房の外側上が最も多く約五〇%、次いで内側の上、乳首付近などとなっています。乳がんは女性ホルモンのバランスの乱れが原因と言われます。保健婦さんなどの指導を受け、自己検診法によって早期発見を心掛けてください。

がんの危険信号

1. 胃のぐあいが悪く、食欲がなく、好みが変わったりしないか……(胃がん)
2. おりものや不正出血はないか……(子宮がん)
3. 乳房のなかにシコリはないか……(乳がん)
4. 飲み込むときに、つかえることはないか……(食道がん)
5. 便に血や粘液が混じったりしないか……(大腸がん・直腸がん)
6. 咳が続いたり、痰に血が混じったり、声がかすれたりしないか……(肺がん・咽喉がん)
7. 治りにくい潰瘍はないか……(舌がん・皮膚がん)
8. 尿の出が悪かったり、血が混じったりしないか……(腎臓がん・膀胱がん・前立腺がん)

このような症状があったら、直ちに診てもらって、がんでないことを確かめましょう。

がんは無症状のうちに芽ばえますから、特に胃、子宮などについては、年1回は検診を受けて安心しましょう。

(日本対ガン協会)

スポーツの町宣言

町長杯争奪野球大会

ベスト8出そろ

9月 10月上旬 主な運動公園行事

- 9月5日 町民野球大会決勝戦 AM7:30 専用野球場
- 9月8日 郵政体育大会
- 9月19日 東部地区館ソフトボール大会
- 9月23日 新潟県自動車整備振興会野球大会
- 9月26日 町野球選手権大会予選 参加27チーム
- 9月26日 ウォークラリー大会 AM10:00 体育館前
※参加者はお昼を持参 ※雨天の場合は中止
- 10月3日 町野球選手権大会決勝戦
- 10月17日 北魚沼郡野球選手権大会



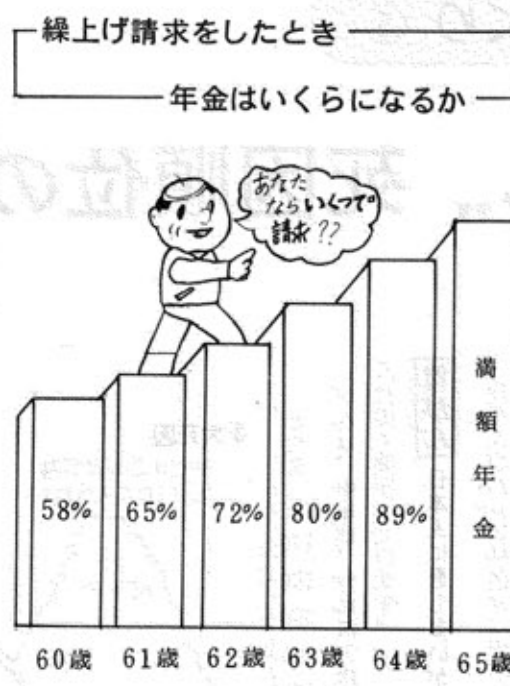
▲熱戦がくりひろげられている 専用野球場

去る七月四日、熱戦の火ぶたが切られた町長杯争奪野球大会(リーグ戦)も、各ブロック毎上位二チーム、計八チームが決定されま

年金だより

国民年金の老令年金と通算老令年金の支給開始年齢は六十五歳ですが、本人の希望によっては、六十歳以後であればいつでも請求して受けることができます。これを「繰り上げ請求」といいます。

また、年金額は毎年増額されているので、六十五歳から受ける満額年金と、繰り上げ請求による減額年金との差はますます開く一方です。このため、最近では保険料を納めないでもらっている老令福祉年金(二十八万八、〇〇〇円)よりも低い年金(額)を受けている老令年金受給者(繰り上げ請求者)も少なくありません。



繰り上げ請求 減額は生涯続きます

地区館だより

木沢地区館の主な活動を紹介します。その一つは五十五年四月、阿部地区館長になって、最初に活動をスタートし、今も続いている早朝マラソンがあります。



▲早朝マラソン 8/22 AM6:00

小・中学生を対象に、青年会、お父さん、お母さん方も加わり、三十人前後で小学校校庭をスタートし、村内約一・五キロのコースを、互いにはげまし合いながら走り通すのです。校庭に再び戻った時は、全員汗びっしょりになります。

一番きつい所は、途中の奥道、小林和繁さん宅の裏から小林広吉さん宅の前を通って、峠に向う奥道へ出るまでの間です。こうした積み重ねが、五十五年八月、スポーツ(1)...

地区のまじまじ

体力づくりをめぐって

取る大切な年金です。「繰り上げ請求をして損をした!!」などというのではないように、請求をするときは、長く続く老後の生活のこ

住所や支払機関の変更届はすみやかに 老令年金や障害年金・母子年金などを受けている皆さん、住所や年金を受ける支払機関を変更したときは、すみやかに届け出てくださ

届け出がありませんと、各支払月にお送りする支払通知書や振込(送金)通知書が届かなかったり、希望する銀行や郵便局で年金を受け取ることができなくなります。詳しいことは町民課に問い合せてください。

木沢地区館

早朝、ナイターと続き、眠い目をこすりながらの戦いは、非常に価値ある勝利と云えます。栄えあるカップは、どのチームの手に渡るでしょうか。

- Aブロック。ホープス。ベアーズ
- Bブロック。丸山工務店。丸山食品
- Cブロック。インディアンズ。商工会
- Dブロック。東芝管球器材。生越キラーズ

町少年野球 スポーツ少年団 各地区合宿さかん

西川口地区、東部地区のスポーツ少年団が運動公園キャンプ場・野球場等を利用して、合宿をおこないました。

西川口地区(八月七日~八日) 長岡市少年野球スポーツ少年団と野球の練習試合を行い、アスレチック、キャンプ等で友情を深めました。

ヤング紹介 ④

阿部利弘さん(22歳) 武道窪



阿部さんは、武道窪地区から長岡市にある北越興業に勤務。会社ではタイヤのチェーンや、鉄筋関係の仕事をしています。少し緊張気味の阿部さんに、一言聞いてみました。



「興味は何んですか?」「テニスと、あとは酒を飲んで陽気になることかな?」

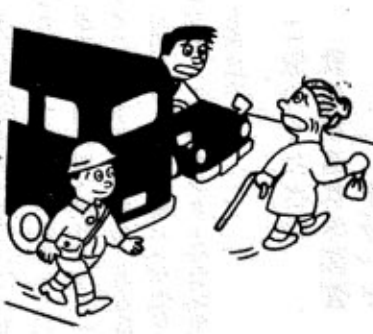
「そうですね、もっと青年に注目してほしいですね。」
「結婚は何歳と考えていますか?」「二十五歳まではと考えていますが、今はまだフイバーしたいですね。」
「理想の女性はどんな人ですか?」「知的で男をたてる人。」
「最後に自己PRをどうぞ。」
「ズバリ、明るさだけがとりえです。」



運動の重点

1. 歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止
2. 二輪車の安全利用の徹底
3. 安全運転の確保、特に無謀運転の防止

歩く人へ
（子どもと老人へ）
車のすぐ前や
すぐ後の横断
は危険です



秋の全国交通安全運動 9/21-30
家庭や職場で正しい
交通マナー呼びかけを

交通事故は増大の傾向にあります。小千谷警察署管内における本年上半期の交通事故発生状況は、件数、死者、傷者とも前年同期と比較して倍増の状況にあります。これから秋の行楽シーズンを迎えその増加が懸念されます。また高速交通時代に入り当町の交通量は激増しております。そこで町民一人ひとりが、いつでも、どこでもだれにでも交通安全のための「愛の一声」をかけあって事故のない毎日を。特に子供、老人の交通事故防止に気をつけましょう。

お年寄りと税金

九月十五日は敬老の日、お年寄りを敬い、長寿を祝う行事が各地で催されます。

国の重要なしごとの一つに社会福祉の充実があり、老齢福祉年金の給付や保護施設の拡充などいろいろな施策を行っています。

税金面でもお年寄りの方には多くの特典が設けられています。たとえば、六五歳以上のお年寄りでの年間の所得金額が一〇〇万円以下の方は、所得税を計算するとき次の控除が受けられます。

① 老年者控除 所得控除の一つ

② 老年者年金特別控除 国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給の収入金額から七八万円を差し引くことができます。

また、一定の要件を満たしている七〇歳以上のお年寄りと同居し扶養している納税者は、通常の老人扶養控除三五万円に五万円を加えた四〇万円を差し引くことができます。

くわしくは、小千谷税務署・税務相談室へおたずねください。

町民、囲碁、将棋 お盆大会終了

去る8月22日、福祉センターで熱戦がくりひろげられました。結果は次のとおりです。

囲碁の部		将棋の部	
囲碁総合優勝	大淵 公男	将棋総合優勝	星野 建一
総合準優勝	鈴木 融	総合準優勝	真島 欽一
A組1位	鈴木 融	松組1位	星野 建一
2位	星野敬太郎	2位	小池 和義
3位	小山 和夫	堀沢 敏	竹組1位
B組1位	大淵 公男	2位	星野 誠二
2位	広井 徳治	3位	内藤 武正
3位	渡辺 善昭	梅組1位	真島 欽一
3位	丸山 東威	2位	佐藤 信夫
		3位	五十嵐 昭盛

特別養護老人ホーム 「小栗田の里」 職員募集

昭和五十八年四月一日、小千谷市大字小栗田に開園予定の特別養護老人ホーム「小栗田の里」の職員を募集します。

・受験資格 各職種とも小千谷市、北魚沼郡に住所又は本籍を有し、かつ通勤可能な者であること。

・申込み期間 昭和五十七年九月十四日から十月十三日まで。

・受験申込み先 千947 小千谷市城内二ノ七ノ五、小千谷市役所内、小千谷北魚沼福祉会事務局（市役所一階）

・試験日 試験日時・会場等は、おって受験申込者に通知します。

・採用予定日 昭和五十八年四月一日

・給与 小千谷北魚沼福祉会で定める。

・その他 申込み用紙は小千谷北魚沼福祉会に請求して下さい。（郵便で請求するときは60円切手をはった宛先明記の返信用封筒を同封して下さい）

くわしくは、小千谷市城内二丁目七ノ五、小千谷市役所内 社会福祉法人小千谷北魚沼福祉会事務局にお問い合せ下さい。☎02588333511、内線207

川口を愛そう 文化の源流を求めて

町歴史民俗研究同好会

発行後10年経過 現在会員五十数名

川口町をこよなく愛し、川口町の発展を願うには先ず川口町文化の源流をさぐることである。そして古人の営々として育て、生きて来た足跡を調べ、残された文化即ち、遺跡や民具の調査をし、文を後世に明らかにしようと言う大胆な発想から同好会が生れたのである。

昭和四十七年七月に創立されたので既に十年の歩みを通り五十数名の有志が会員として研究調査に つとめている。年齢を越え、男女にかかわらず川口町全域にわたって

川口町をこよなく愛し、川口町の発展を願うには先ず川口町文化の源流をさぐることである。そして古人の営々として育て、生きて来た足跡を調べ、残された文化即ち、遺跡や民具の調査をし、文を後世に明らかにしようと言う大胆な発想から同好会が生れたのである。

昭和四十七年七月に創立されたので既に十年の歩みを通り五十数名の有志が会員として研究調査に つとめている。年齢を越え、男女にかかわらず川口町全域にわたって

町史の窓 ③

川口自由大学と 山田勝治(新敷)のこと

北越新報の大正15年10月24日の記事の中に「川口自由大学」が10月24日午前10時より、西川口小学校で行われる旨、記載されている。

川口自由大学とは何であったのだろうか。自由大学運動は土田杏村の呼びかけで、信濃自由大学を皮切りに開かれた社会人の為の夏季講座と言った性格を持つ民間の社会教育運動である。

当時は大正デモクラシーの最盛期で、自由民権が叫ばれるなど革新の潮流の大きな時代である。

文化僻遠の当地方にこの運動が一時的に花開いた原因には、西川口校長の山田勝治、医師で村会議員の岡村晋、村長の古田島和太郎などの革新的な人々がいたことがあげられる。

大正15年につづいて翌昭和2年10月9日にも第二回の「川口自由大学」が開かれていて、前後二回とも、土田杏村と山田勝治が企画している。講師には京都帝大の高倉輝が二回ともきていて、その内容については明らかでない。

この自由大学の会費は1円であって、閉講の後にはヤナ場で駄狩りをして懇親を深めたと言う。参加者は70名であった。

自由大学は伊米ヶ崎の八海自由大学、堀之内の魚沼自由大学があったが、いずれもファシズムの嵐の中に消えてしまっている。

川口自由大学を開く大黒柱は山田勝治であったのだが、昭和2年、教育に絶望し、東京の第一書房の誘いを受けて文筆の世界に次の人生を選んだと言うことである。

「川口自由大学」についての資料及び記憶のある方は是非、町史編さん室まで一報をお願いしたいと思います。

などを探って、多くの人に知って貰う努力をして来た。既に川口町の文化財として指定された幾つかは会員の古文化を愛する一念が認められた結果の賜である。春の総会には講師を招いて研究している。川口町の地名の研究、木喰上人の川口に於ける足跡、中世時代の川口、古代の川口、川口の遺跡、民俗資料研究の方法など頭に残る話である。年一回は握飯持ちで視察旅行の一日を持ち、既に県下各地の民俗資料館、古跡を数多く視察し、特に秋山郷へは二回にわたって探査している。会員の研究は

種々で古い川口町を幾多の方面から研究し、年一回発行する会誌にその一部分を載せ広く発表している。ユニークな研究調査が多く読んでも載ける工夫をしている。川口の方言、年貢米のこと、川舟の苦心、木びき唄、その他の伝えられる歌、寺社の昔、新田開発の様子、町の道祖神、川口自由大学のこと、四郎神様のこと、その他興味多い調査研究がわかり易く各巻に満ちている。川口文化の発掘と発展に更に多くの町民の方々の参加と協力をお願いし、会の一端を紹介する次第である。